

Staff Blog



スタッフブログ

（スタッフブログ）

ワオ好きのワオ好きによるワオ好きのためのブログ。その2

第2段！！

前回思いの他好評でしたので第2段書きます！！

まだ前回のブログを読んでいない方は下のリンクから是非どうぞ。

[ワオ好きのワオ好きによるワオ好きのためのブログ。](#)（新しいウインドウが開きます）

今回は検証ブログです！！！！

ワオキツネザルはサボテンが大好き？？

みなさまはワオキツネザルといえばどんなものを食べていると思いますか？？

えーっと。

バナナ？リンゴ？ハクサイ？？・・・どれも正解です！！

動物園では今言っていたいただいた果物や野菜、あとは霊長類用のビスケットなどを与えています。

ですがこれはあくまで動物園でのお話。

もちろん彼らが生息するアフリカ・マダガスカル島にはリンゴやハクサイなんてものは自生していません。

野生下では現地で生えている木の葉や花、果実、昆虫、サボテン等を食べて生活していると言われています。

マダガスカルとは気温も湿度も全然異なる日本ではなかなか野生下で食べているものをあげられません、、、。

ですが先ほど述べたものの中に日本でも聞き馴染みのあるものが！！

それは・・・サボテン！

先日サボテンをいただいたので、今回は果たしてワオキツネザルはサボテンを食べるのか検証してみます！！

さっそくあげてみた！！

今回あげてみるのはこちらのサボテン！！

ウチワサボテン！！



通称「うちー」。(今名づけました。)
正式にはウチワサボテン属に属する「センニンサボテン」といいます。

ウチワサボテンはヒトの食材としても用いられていて、メキシコではなじみのある食材らしいです。どんな味なんだろう・・・。

種類は異なると思いますが、マダガスカルでもウチワサボテンを食しているとのことなので
今回はこのサボテンをあげてみます！！

まずは下ごしらえ。
棘が相当痛いので、刺さらないように丁寧にカットしてつるつるにしていきます。
この作業の合間に私の両手が何回か悲鳴をあげました。
現地のワオキツネザルはこのままかぶりついているのだろうか・・・。
なんというファイティングスピリットだ。
それほどおいしいということなのか。
これは結果が楽しみ♪



まずは匂いをくんくん。



そしてさらにくんくんくん。



・・・・・・・・・・。

全然食べない（笑）

まあ初めて見るものですし、恐らく食べ物と認識できていないだけなのかな？

その後もまるまるかざしただけでは、一向に食べる気配がなかったので細かくちぎってまいってみました！！

するとなんと！！



食べてる！！！！

ですがめっちゃめっちゃ人気という訳でもなく、最終的には細かくちぎられたサボテンが展示場に散乱という事態に。

普段あげているシラカシやスタジイといった木の葉の方が大分人気です(-_-;))

今もまだモンキー館でサボテンを育てているので、大きくなったらまたあげてみたいと思います！！

運が良ければ来園したときにサボテンを食べているワオキツネザルを見ることができるかも！！

※散乱しているサボテンを見つけたらまた食べなかったんだなと察してください笑

かみね動物園に来たら、ぜひモンキー館に立ち寄ってくださいね！！

その3に・・・つづく・・・かも。

（夏が終わり、寒い季節が近づいていることに今から恐れおののいている飼育員 染谷）

2021年9月8日

イチゴちゃんがお母さんになりました！その1

先日お知らせしましたが、8月8日にチンパンジーのイチゴちゃんが出産をしました！

多くの方が驚いたかと思いますが、担当者たちも妊娠が判明した時はとても驚きました。また、喜びと共に少なからず不安を抱きました。

どうして不安を感じたのか？まずはイチゴちゃんについて少しお話していきます。

2008年1月5日に石川県の動物園で生まれました。母親は無事に出産をしたのですがイチゴちゃんを上手に抱くことが出来ず、飼育員や獣医が代りに育てる人工保育となりました。

その後すくすくと元気に成長しましたが、他のチンパンジーたちと一緒に暮らすことは出来ずにいました。そんな中2016年10月3日かみね動物園にイチゴちゃんは来園しました。



来園して間もないころのイチゴちゃん

群れで暮らすチンパンジーにとって挨拶をするなどコミュニケーションをとる事は非常に重要です。チンパンジーと暮らしたことのなかったイチゴちゃんにとってはどうやってコミュニケーションをとれば良いのか分からず苦労した部分もありましたが、数カ月で無事に群れの中で暮らすことが出来るようになりました。



ユウやヨウ、ゴウと一緒にいるイチゴちゃん

それでもやはり一人でいる事は多く、またルールを無視して怒られてしまう事もありました。

そんな中で繁殖を目指すのはまだまだ先のことに感じていました。

チンパンジーの雌の性周期は約35日、その中で排卵日前後の数日間、性皮と呼ばれるお尻の部分がピンク色に大きく腫れてきます。そして、この時期にだけ雄との繁殖行動を許容します。このため雄達は常日頃雌達のお尻をよくチェックしています。人工保育の場合はこのチェックの意味や、性皮が腫れている時に繁殖行動をすることの意味が分からない場合が多くなってしまいます。

イチゴちゃんもユウ君やゴヒチ君がチェックにきてもすぐに動いてしまうなど、まだまだ繁殖行動をするのは難しいかなと思って観察していました。

しかし、今年に入って間もない1月8日に運動場から寝室に戻ってきたイチゴちゃんの性皮には繁殖行動をした痕跡がみられました！また翌日、翌々日にも観察されました。録画してあった映像を確認しましたが、その場面は映っておらず誰と繁殖行動をしたのかは分かりませんでした。



1月のイチゴちゃん

まさか？本当に？イチゴちゃん交尾が出来たの？？と嬉しい反面、にわかには信じられない気持ちがありました。しかし、その後性皮がいつもと違う状態を示し、生理出血もみられなかったため妊娠検査を行ったところ、2月の頭に陽性が確認されました！！



チンパンジーの場合、人の妊娠検査薬が使用できます

その後どんどんお腹が大きくなり、胸に張りが見られるようになり、体調管理に気をつける日々が続きました。



2月の様子



3月の様子。フクちゃんがお引っ越ししてきました。少しお腹が大きくなり始めました。



4月の様子。お腹がふっくらしてきたのが分かります。



5月の様子。胸の張りも目立ちます。



6月の様子。お腹が重いのか横になる姿よく観られるようになりました。



7月の様子。約1ヵ月前。お腹がパンパンに膨らんでいます。



出産1週間ほど前の様子。お腹も下がってきてもう間もなくといった様子。

と、長くなってしまったので今回はここまで！出産当日の様子などはその2に続きますので、少しの間お待ち下さい！！

(チンパンジー担当 おおぐり)

2021年9月6日

過去の一覧

[令和6年](#)

[令和5年](#)

[令和4年](#)

令和3年